

配布用

二〇二五年度 武蔵大学大学院

人文科学研究科 博士前期課程(修士課程)Ⅱ期 一般入試／社会人入試

日本文化専攻 専門研究コース／生涯学習コース

【専門科目】 問題

\* 問題用紙、解答用紙ともに回収します

次の□～□に答えなさい。

□一次の①～⑮から任意の5項目を選び、その項目の丸数字を解答用紙の所定欄に記入して、それぞれを簡潔に説明しなさい。  
(解答用紙二)

- ①卯月八日行事 ②講 ③『国性爺合戦』 ④五節供 ⑤私小説 ⑥浄瑠璃  
⑦『曾根崎心中』 ⑧竹田出雲 ⑨竹本義太夫 ⑩年神 ⑪日本浪曼派 ⑫放生会  
⑬翻訳小説(明治期) ⑭丸本物 ⑮三浦環

□三次の【A】～【C】の中から一問を選び、その記号を解答用紙の所定欄に記して、それぞれの設問に答えなさい。なお、解答欄は各設問に応じて適宜使用するものとし、番号(問一、問二など)を冒頭に記して、それぞれを記しなさい。  
(解答用紙三)

【A】以下は、萩原朔太郎「日本への回帰」(『いのち』一九三七年一月)の一節である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

僕等はあまりに長い間外遊して居た。そして今家郷に帰った時、既に昔の面影はなく、軒は朽ち、庭は荒れ、日本的なる何物の形見さへもなく、すべてが失はれてゐるのを見て驚くのである。僕等は昔の記憶をたどりながら、かかる荒廃した土地の隅々から、かつて有った、「日本的なるもの」の実体を探さうとして、当もなく侘しげに徘徊してゐるところの、世にも悲しい漂泊者の群なのである。(中略)僕等は西洋的なる知性を経て、日本的なものを探求に帰つて来た。(中略)日本的なものへの回帰！それは僕等の詩人にとつて、よるべなき魂の悲しい漂泊者の歌を意味するのだ。誰れか軍隊の凱歌と共に、勇ましい進軍喇叭で歌はれようか。かの声を大きくして、僕等に国粹主義の号令をかけるものよ。暫らく我が静かなる周囲を去れ。

問

右の文章で述べられていることについて、自分の専門領域と結びつけて論じなさい。

【B】以下は、『浄瑠璃譜上』(作者不詳・享和四(一八〇四年)の一節である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

此浄瑠璃も繁昌にて同七月十六日より

○(略)夏祭浪花鑑 九冊物

是当芝居はじまりてより①世話もの九段続のはじめ也比しも暑氣の氣をとり四ツ目より八ツ目迄始て

人形衣裳帷子を着せたり是三代前吉田文三郎趣向にて(中略)右狂言にては役団七九郎兵衛一寸女房おたつを使ひ②おたつ姿は今に歌舞妓にても桔梗の帷子黒縷子前帯浅黄のわたぼふしより外を着ればおたつ(のやうに見へぬもふしぎ)(後略)

○夏祭浪花鑑 九冊物(後略)

(中略)

③操り段々流行して歌舞妓は無が如し芝居表は数百本の、ぼり進物等数をしらず東豊竹西竹本と相撲の如く東西に別れ町中近国ひいきをなし操りのはんじやういはんかたなし

問一

下線部①の語句について、代表的な作品をあげながら説明しなさい。

問二

下線部②からうかがえる、人形浄瑠璃と歌舞伎との関係性について論じなさい。

問三

下線部③について、これはいつ頃どこで生じた状況を指したのか。また、なぜこのような状況に至ってしまったのか、当時の時代環境をふまえた上で論じなさい。

【C】次の問いに答えなさい。

問

世界に広がっている仏教・キリスト教などと、各地の民間信仰・民俗宗教との違いについて説明せよ。なお、民間信仰の個別事例については説明することは不要である。

【三】以下は、大岡信『うたげと孤心』(一九七八年)の一節である。これを読んで、後の問いに六〇〇〜八〇〇字で答えなさい。

(解答用紙三)

(上略)私は、日本の詩歌あるいはひろく文芸全般、さらには諸芸道にいたるまで、何らかのいちじるしい盛り上りを見せている時代や作品に眼をこらしてみると、そこには必ずある種の「合す」原理が強く働いていると思われることに、興味をそそられているのである。

問

筆者がここで言う「合す」ことについて、作品制作の方法論や制作の場など、あなたの専門分野に関連した具体的事例を取り上げて、その特質を詳しく説明しなさい。